

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月15日

【評価実施概要】

事業所番号	3870102336		
法人名	医療法人 ビハーラ		
事業所名	グループホーム ルンビニー		
所在地	松山市安城寺町530番地 1		(電話) 089-978-7515
管理者	五藤 恵		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目 1 - 3 チフネビル501		
訪問調査日	平成20年10月21日	評価確定日	平成20年11月15日

【情報提供票より】 (平成20年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成14年2月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	23 人	常勤	16人, 非常勤 7人, 常勤換算 19.1人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	46,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3) 利用者の概要 (平成20年10月1日現在)			
利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護1	3 名	要介護2	0 名
要介護3	2 名	要介護4	6 名
要介護5	7 名	要支援2	0 名
年齢	平均 87 歳	最低 78 歳	最高 99 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 (あり)・なし	指定認知症対応型通所介護		
届出 (あり)・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>職員は、日頃からユニット間を行き来されており、管理者はもちろん、ユニットのリーダーも両ユニットのカンファレンスに出席され、全体を把握できるよう努めておられる。職員のチームワークがよく、職員個々が役割を持って日々取り組まれている。                  市社協が開催する研修会での看取りについての事例発表をされ、他施設からの質問等も受けられた。                  食事担当の職員は、食事メニューのことを利用者に相談しながら決めておられた。又、ハーモニカを吹かれる方に合わせて他の利用者が歌を歌い、お互いに拍手し合っておられる様子がうかがえた。                  近くのコンビニエンスストアへ雑誌やおやつを買いに、お一人で出かけられる方がおられる。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、地域行事に参加される等、地域とのかかわりを増やされた。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・全職員で自己評価に取り組み、ユニットのリーダーや管理者でまとめられた。管理者は、職員個々の視点の確認ができたと話されていた。又、目標や課題を明確にされ、今後の取り組みをすでに検討されていた。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・事業所では、「地域の中の住人として溶け込んでいくことを目指し」て会議をすすめておられる。民生委員の方や公民館長の方も出席されており、事業所に対しての質問等も出されている。法人代表者が「認知症について」お話しされ、理解を深めていただけるよう取り組まれている。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・事業所は、ご家族に対して開放的であり、いつでも来訪いただけるようにされている。事業所で看取られた利用者のご家族が、現在もボランティアに来て下さっている。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・この一年間、地域行事に参加する機会を増やされ、地区の敬老会に出席された方もおられる。地域の方で、畑や庭のお花の世話をしてくださる方もいる。</p>

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム ルンビニー

(ユニット名) 1F

記入者(管理者)

氏名 五藤 恵

評価完了日 平成 20 年 9 月 20 日

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			・ B S法を取り入れ職員全員の意見をとりまとめ、フロアごとの理念を作成し、掲示している。		
			(外部評価)		
			事業所では、「利用者個々の思いを汲み取り生活を豊かにする」「人としてあたりまえの関わりと支援」を理念に掲げ、利用者の思いを大切に、地域ともかかわりを持って暮らせるよう、支援することを目指しておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			・ 理念を基本に月目標を決め日々の生活に取り組んでいる。1ヶ月に1回行っているミーティング時に日ひとりずつ反省し、次の目標に繋げている。		
			(外部評価)		
			ユニット毎の目標を決め、又、職員個々に毎日、目標を立てて理念の実践に向けて取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			・ 家族会や運営推進会議を開催しているが、その都度の説明はしていない ・ 毎月のお便りの発行。ホームページの作成をし、送付している。		
					家族会や地域の集まり等の機会に理念についての説明を行う。又、ホームページやお便りにも各フロアの理念を入れる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) バス停でバスを待っている方々に話しかけ、コミュニケーションを図っている。この夏には、数回「待たせてください」「お茶を下さい」などと訪ねてくださった。		隣接するデイサービスの利用者のリハビリ(デイ ルンビニー間の歩行訓練)時にコミュニケーションを図る。 ・ デイに通われているおばあさんの家を訪ねたり、グループホームでお茶を飲んでもらう。(職員がデイ ルンビニーの異動で顔なじみ)
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ・ 回覧板を入居者さんと一緒に次の家へ持って行っている。 ・ 幼稚園、小学校との交流。 ・ お遍路さんの接待。 ・ お祭り・敬老会参加・わごし参加  (外部評価) この一年間、地域行事に参加する機会を増やされ、地区の敬老会に出席された方もおられる。地域の方で、畑や庭のお花の世話をしてくださる方もいる。		今年初めて敬老会に参加。(住民票がルンビニーにある方)地域の方が車椅子ごと抱えて、2階へ連れて行ってくださいました。帰り「来年も元気で敬老会に来てよ」と声を掛けてくださり、とっても嬉しく思いました。地域の方の温もりを感じました。これからもっと関わって行きたいと思います。  事業所では、地域の敬老会に参加されたことをきっかけに、地域との交流をさらに深めていきたいと考えておられる。又、地域の方に事業所の役割や認知症のこと等を知っていただくことに、今後さらに、力を入れていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ・ 看護学生・日赤の看護師の実習を受け入れている。 ・ 運営推進会議では、認知症についての勉強会をし、認知症の正しい知識を得てもらっている。		・ 地域の方へも認知症についての勉強会を開き、ネットワークを広げたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ・ 外部評価を元に目標を定め、改善に取り組んでいる。 ・ 自己評価は、職員全員で行った。全員が行うことで、一人ひとり自分が支援していることに対するの振り返りと気付きに繋がっていると思う。  (外部評価) 全職員で自己評価に取り組み、ユニットのリーダーや管理者でまとめられた。管理者は、職員個々の視点の確認ができたと話されていた。又、目標や課題を明確にされ、今後の取り組みをすでに検討されていた。前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、地域行事に参加される等、地域とのかかわりを増やされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			・評価への取組状況についての報告や話し合いまで 至っておらず。現在は、ホームでの様子、サービス状 況はもちろん報告しているが、認知症を正しく理解し ていただくことに力を入れている。		・認知症を正しく理解していただき、評価への取組状 況について、報告、意見交換していきたい。
			(外部評価)		
			事業所では、「地域の中の住人として溶け込んでいく ことを目指し」て会議をすすめておられる。民生委員 の方や公民館長の方も出席されており、事業所に対し ての質問等も出されている。法人代表者が「認知症に ついて」お話され、理解を深めていただけるよう取り 組まれている。		さらに事業所では、今後、会議に地域からの出席者を 増やしていきたいと考えておられた。利用者がお一人 で外出された際の見守り等、地域の協力をいただける よう、働きかけていきたいと考えておられる。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			・松山市社会福祉協議会から 看取り の事例発表依頼 があり、ルンビニーでの事例を話す機会があった。 又、市社協に来ている実習生が、一緒にルンビニーに 来てくださり関わりを持つ機会があった。		・これからも行き来する機会をつくりたい。
			(外部評価)		
			市社協が開催する研修会での看取りについての事例発 表をされ、他施設からの質問等も受けられた。市の担 当者の方に支援について相談されたり、アドバイスを いただくこともある。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			・実際に成年後見制度を利用す利用者がおられるた め、紙面で学ぶより学習になっている。実際経験して 学んだことは、職員に伝えている。		・これを機会にもっと知識を得よう勉強会を持ちた い。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			・ミーティング時に話し合いを行い防止に努めている も、虐待とは...の勉強会はしていない。		・虐待についての勉強会を行い、どのようなことを虐 待というのか、というところから勉強したい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ・契約時や解約時には、時間をかけ説明を行い、納得していただくよう、努力している。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・自分の気持ちを表出できる利用者には外部へ表せる機会を設けるよう努力している。自分の思いを表出できない方に対しては、表情やしぐさから思いを汲み取るよう、努力している。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ・面会時や電話を利用し随時報告している。 ・又、お便り発送時には、生活の様子を書き添えて発送している。		
			(外部評価) ご家族の来訪は頻繁にあり、その都度、近況報告をされている。又、「ルンビニーだより」では、利用者の生活の様子やご家族とのふれあい、行事の様子等、写真を多く載せて活動の様子を伝えておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・日頃からご家族との関わりを大切に人間関係作りに努めている。又、何でも言いやすい環境作りにも気を配っている。 ・家族会では、職員が席を外し、ご家族同士で話し合っただけ時間をつくり、意見や苦情を出していただいている。		
			(外部評価) 事業所は、ご家族に対して開放的であり、いつでも来訪いただけるようにされている。事業所で看取られた利用者のご家族が、現在もボランティアに来て下さっている。		管理者は、今後もさらに、ご家族との関係を深めていきたいと話されていた。ご家族に職員の名前と顔を知っていただけるよう、ユニット毎に顔写真入りで「本日の勤務職員」を示せるよう作成中であった。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ・スタッフの意見、要望を聞くことを大切にし、改善できる所は改善するよう努力している。 ・又、意見を出しやすい環境作りにも勤めている。		・どのような事柄でも、“相談してみよう”“話をしてみよう”と思えるように、常日頃からスタッフとのコミュニケーションを図っていきたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ・常に柔軟な対応ができるよう、勤務の調整に努めている。(管理者はシフトに入っていない)		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ・できる限りなじみの関係を大切にし、異動も最小限にと考えて居るも、状態に応じて異動している。  (外部評価) 職員は、日頃からユニット間を行き来されており、管理者はもちろん、ユニットのリーダーも両ユニットのカンファレンスに出席され、全体を把握できるよう努めておられる。職員のチームワークがよく、職員個々が役割を持って日々取り組まれている。元職員の方がお子さんを連れて遊びに来てくれることもある。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ・積極的に講習会などの外部研修への参加を促している。月に1度あるカンファレンスでスタッフに伝えている。  (外部評価) 外部研修への参加を積極的にすすめておられる。又、日々ケアを行う中で、管理者やユニットのリーダーの方が職員にケアのアドバイスをされている。		・2ヶ月に一度の割合で勉強会を開催していたが、現在行っていないため行う機会を作りたい。  事業所内での勉強会もすすめていきたいと考えておられる。管理者は、今後さらに、「終末期の支援」や「緊急時の対応」等、勉強を重ねていきたいと話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			・相互評価に参加し、他のグループホームとの交流を図り新たな気付きを養っている。		
			(外部評価)		
			職員は相互評価事業に参加され、他事業所の取り組みを知り、生活の中でリハビリすることの大切さを学ばれた。		地区内のグループホームで集まり、意見交換を行うような機会が作れるよう、地域包括支援センターの担当者に提案したいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			・ストレスの原因を把握し、その状態に対して解決に向けて努力している。 ・スタッフ一人ひとりの関わりを大切にしよう努めている。 ・季節ごとに機会を設け会食などでストレス軽減に努めている。		・更に少人数のスタッフの人間関係に配慮したい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			・運営者は度々グループホームを訪れて、スタッフと接しており、モチベーションを高めるよう努力している。		・運営者とスタッフとの心の距離を近づけるためにも、面談や、食事の機会を増やしたい。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			・入居までに、ご本人、ご家族に会い、生活の様子を伺っている。又、グループホームにも来ていただき、話を聞く機会を作り、少しでも安心できる環境作りをしている。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		<p>初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・入居に当たっての説明時にも、ご家族の悩みを受け止め、会話を大切にしている。</p>		
25		<p>初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・初回面会時、ご家族の要望を聞き、本人の状況、状態を観察しながら対応している。</p>		
26	12	<p>馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・同法人のデイサービスの利用者で入居希望者が居る場合は、馴染んでもらえるよう、関わりを持つ機会を多くした。</p> <p>(外部評価)</p> <p>近隣の法人のデイサービスから入居となった方は、これまで行っていた通りに、ご自分で買い物に行けるよう見守り、支援されている。</p>		
<p><b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b></p>					
27	13	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・介護する側、される側という区別はせずに、一つ屋根の下で暮らす家族のような雰囲気作りに努めている。家事などで分からない事は教わったり、助けてもらいながら、お互いに支え合う関係を作っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>食事担当の職員は、食事メニューのことを利用者に相談しながら決めておられた。又、ハーモニカを吹かれる方に合わせて他の利用者が歌を歌い、お互いに拍手し合っておられる様子が見えた。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ・ご家族が面会に来られた時は、状態を伝え、また、いろいろな情報などを頂くように努めている。行事の時などには、参加していただいたりし、一緒に本人を支えていけるように努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ・面会に来られた際、なるべくご家族と会話する時間を作っている。その中で入居者への思いなどを聞いたり、伝える努力をしている。遠方の方は、電話も利用し、良い関係作りを心がけている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) ・本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所への支援を大切にしているが、充分とは言えない。		・馴染みの場所などへの外出を計画している。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ・共同生活の為、トラブルもあるが、職員が間に入る事で助け合った生活が出来ている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ・退去後しばらくは連絡をとっているが、継続的に連絡をする事はない。		・退去後も関係が継続出来るような付き合いを大切にしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1.一人ひとりの把握</b></p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・訴えのある人に対しては希望に添えるように支援し、訴えない人に対しても思いを汲み取り支援するように努力している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>記録等に職員の気づきを記入し、印を付け、分かりやすくされる等、ご本人のことを全職員で把握できるよう取り組まれている。アセスメント表をご家族にも記入いただいている。</p>		<p>さらに、ご本人の写真入りで、現在の状況や希望されていること、使用している介護用品を書き加えていけるようなオリジナルのアセスメント様式を検討されていた。さらに、意思表示の難しい方についても、どのように過ごされたいかということを探り続けてほしい。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・アセスメントシートを独自に作成し、ご家族と協力して記入することで、バックグラウンドの把握に努めている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・職員が日々、「何ができるのか?」「どうすれば出来るのか?」を考え、記録に残し、その人の状態を把握出来るように努め、ケアに繋げている。</p>		
<p><b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・月に1回カンファレンスを行い、本人の言動、ご家族の意見、職員の意見をまとめ、本人の立場に立った、その人らしいケアプランを作成している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		<p>さらに、「ご本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方」という点からも、介護計画の内容について検討されてみてはどうだろうか。</p>
			<p>「生活をより豊かにするためのプラン」に力を入れておられる。職員の日々の気づきをもとに、ご家族と相談しながら考えておられる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			・状態の変化などあった場合は、カンファレンスなどで話し合い、課題や問題点を拾い上げ、担当者を中心に新しいケアプランを作成している。		
			(外部評価)		
			3ヶ月毎の見直しと状態変化時、計画の内容が達成された時には計画を見直しされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			・大切な事、気付いた事も記入している。いつもと違った行動、言葉、表情など細かく記録に記入し、情報を共有し、見直しに活かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			・医療処置が必要な時、病院と連携し、処置を受けながら、生活が継続出来るように努めている。またデイサービスが隣にある為、行事などがある場合、参加している。		
			(外部評価)		
			一緒に過ごされた利用者の葬儀に参列されることも支援してられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ・運営推進会議を利用し、地域の方や民生委員の方などの協力を得ている。また地域のボランティアの方も協力してくれ、定期的に関わりを持たせてもらっている。近隣のマンションの方には、緊急時に応援をお願いしている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ・現在、必要性が認められないため、支援を必要としていない。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ・ご家族の希望を大切にし、状況に応じて適切な医療を受けられるように支援している。  (外部評価) 母体病院の医師といつでも相談、対応が可能であり、日々、職員は、看護師資格を有する職員に利用者の様子を相談しながら、ケアをすすめておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) ・主治医が認知症サポート医の為、適切な診断や治療が受けられるように支援している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ・看護師が常勤しており、日常の健康管理をしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ・主治医と相談しながら、早期退院に向けて話し合いを持ち、少しでも早い退院が出来るようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ・状況の変化に伴い、その都度話し合いを行い、ご家族と方針を決定している。契約書の重要事項説明書にターミナルについての項目を設け、入居時に説明し、同意を得て、同意書も得ている。 (外部評価) 事業所では、利用者ご家族の希望に応じて、看取りを事業所で行うことを支援されており、これまで、11人の方の看取りを支援された実績がある。利用者が亡くなった後、事業所内で体や髪をきれいにされ、みんなで思い出を語り、お別れをされている。最期は、母体病院の医師やご家族も事業所に泊まり、職員も協力し合って支援されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ・家族との話し合いの中で、グループホームとして出来る事、出来ない事を伝え、方向性を決定し、ご家族の理解も得て、チームでのケアが行えている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ・情報シートを活用し、グループホームでのケアが継続出来るよう、情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) ・職員1人1人がプライバシーの尊重を心がけているが、慣れによる名前の呼び方、排泄時のプライバシーの確保が出来ていない場合もある。</p> <p>(外部評価) 職員の利用者へのかかわりに偏りがなく、チェック表を設けておられる。職員は、利用者の体調や精神状態等も踏まえてかかわっておられた。</p>		<p>・常にプライバシーの確保を意識し、慣れる事なく、徹底していく。</p> <p>ご家族の了解を得て、職員は、利用者に親しみを持って「～ちゃん」等と呼んでおられる。事業所では、そのようなことがあたりまえに行われている現状について、話し合いたいと考えておられた。又、「利用者が職員の名前を分からないままでよいか」ということについても、話し合いを重ねたいと考えておられた。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) ・その人に合わせた意志の表出方法を汲み取り、自己決定するのが難しい人には、選択出来る場面作りをしている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) ・なるべく1人1人のペースを大切に、その人らしく1日が過ごせるよう努力しているが、全員が希望に添って生活出来ているかは不明である。</p> <p>(外部評価) 介護度重度の利用者も日中は着替えをされており、その日の状態に合わせて居間で過ごされたり、外気に触れるような時間も作っておられる。職員は、庭や畑等のスペースも活用して、ご自分で自由に過ごせるよう声かけ等されている。</p>		<p>・その人らしく生活に彩りを付けられるように支援していきたい。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価)  ・月に1回程度、訪問理容にて対応している。また、希望のある方は、ご家族の協力を得て、馴染みの美容室に行っている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  ・ホームの畑で入居者が育てた野菜を使い、一緒に料理や準備・片付けをする事で楽しみになるよう支援している。  (外部評価) 食事担当の職員がおられ、利用者と相談しながら献立を決めておられる。食事内容については、管理者が利用者の立場に立って意見を言うようにされている。又、2階には介護度重度の方が多くおられるため、食事作りの音やおいを感じていただくために、現在は2階で調理をされている。1階ではお汁作りのみを行い、利用者が具を切る等食事にかかわるようにされている。職員も介助の必要な方の隣で、利用者と一緒に食事をしながらサポートをされていた。		その人が食べたい物の希望も聞いていきたい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価)  ・本人の欲しい物が買えるように、日常的に買い物支援をしている。希望のない方は選択出来る環境作りをしている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価)  ・出来るだけ排泄での失敗感をなくす為に、排泄リズムを把握し、さりげない声かけ、誘導にて対応している。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			(外部評価)	・昼入浴、夜入浴の日を設け、選択できる環境であるが、自分で意志決定出来ない人に関しては、職員が状況を判断し、対応している。	
			現在、日中、夜間帯に入浴できるようになっている。介護度重度の利用者は、急変も考えられるため、日中、体調や状態を見ながら支援されている。又、利用者の楽な状態で入浴ができるよう、用具や支援に配慮をされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			(外部評価)	・夜間不眠だった方は、朝ゆっくり休んでもらったり、昼寝の時間を考えたり、なぜ不眠だったのか職員全体で話し合ったりし、気持ちよく休んでもらえる環境作りをしている。	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			(外部評価)	・日々の会話の中で、入居者の楽しみを職員が把握し、生活の中で楽しみが持てるように支援している。	
			お部屋で過ごすことの多い状態の方も、共用空間で過ごす前にはご自分で鏡を見ながら髪をとかれたり、最年長の利用者は、他の利用者の要望に応じてハーモニカを吹き、楽しませてくれている。		事業所では、終末期までの支援を踏まえて利用者個々にかかわっていく姿勢でおられ、「利用者の充実した時間、又、笑顔を引き出せるのは職員の力である。」と考えておられる。意思表示の難しいような利用者についても楽しみや気晴らし等、探りながら支援されてほしい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			(外部評価)	・希望のある人には、(ご家族の了解のもと)お渡ししている。買い物に行った時、支払いが出来る人に関しては、お金をお渡しし、支払いをしてもらっている。	

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			・日常的に外出の支援が出来るように努力はしている。		・職員が外出の大切さを理解し、今後も支援していきたい。
			(外部評価)		
			近くのコンビニエンスストアへ雑誌やおやつを買いに、一人で出かけられる方がおられる。日々、庭で過ごされたり、散歩等にも出かけておられる。利用者の身体状況等も踏まえて、1, 2階の方と誘い合わせて出かけることもある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			・季節に応じたイベントや本人の希望を取り入れた外出支援を企画している。		・入居者が行ってみたい所に、ご家族や他の入居者と一緒にいけるように企画し、実現したい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			・手紙や贈り物が届いた時は、こちらから電話し、本人に代わっている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			・ご家族との関係を大切に、気軽に訪問出来る環境作りをしている。コーヒーなど、ご家族自身が入れられる方もいる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  ・何が身体拘束なのか、どこまでが身体拘束になるのかを考え、拘束のないように支援している。		・新しい職員に対しては、身体拘束に対しての勉強会を開く。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  ・外に出て行く入居者がいても、何らかの理由がある為、なるべく見守っている。(状況に応じて声かけにて対応) 夜間は入居者の安全を考え、施錠にて対応している。		
			(外部評価)  鍵をかけず、いつでも外に出られるようにされている。又、窓を大きく取り、居室や居間に居る時にも外の様子もよくわかるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  ・入居者が何をしているのか、どこにいるのかを把握し、安全を確保している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  ・何故その人にとって危険であるのか、どうしたら危険を防ぐ事が出来るのか、職員間で話し合い、1人1人の状態に応じて対応している。		・今後も物品をなくすのではなく、1人1人の状況に合わせた対応をしていきたい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  ・緊急時マニュアルを作成している。また、日々の生活で事故防止の為に個別でセンサーを使用したり、食事時は職員が全体を見守れる位置にて食事している。もし事故があった場合は、事故報告書を書き、同じ事が無いよう防止に取り組んでいる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  ・緊急時マニュアルを作成しているが、事故が起こった時のとっさの判断が出来るかは不安である。		・定期的な緊急時マニュアルの回覧や勉強会、救急法の勉強会、看護師からの指導。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  ・年2回の防火、避難訓練を行っている。また緊急時の連絡網を職員、ご家族で作っている。地域の方たちにも声をかけ、協力をお願いしている。  (外部評価)  夜間を想定しての訓練や、階段から利用者を運ぶ訓練も行われた。又、いざという時には、近くのマンションの住人が駆けつけてくれるようになっている。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価)  ・その人の状況に応じて、出来ること、出来ない事をご家族に説明し、起こりうるリスクに対し、ご家族に説明し、対応策をとっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  ・毎日、バイタル測定を行っている。また1人1人に関わる際に体に触れたり、変化がないか意識し関わっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・1人1人が服用している薬の作用、副作用を表にしており、いつでも確認できる状況にしている。服薬支援も薬を準備する時、手渡す時に確認し、間違いのないようにし、飲めたかどうか確認している。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・排泄につながるような物などを食べていただき、運動などにも注意している。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・毎食後口腔ケアを行っている。義歯の消毒もしている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・水分量の少ない人は水分チェックをし、水分量を把握している。食事でも1人1人に合わせた形態になっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>食事の形態も利用者の状況に合わせて様々で、職員は日々、記録し、注意することを共有しながら支援されている。寒天やゼリー等で水分補給できるよう工夫されている。献立の立て方は、混ぜご飯や麺等、1週間で大まかに決め、旬の食材を多く採り入れ、工夫がうかがえた。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・感染症防止マニュアルを作成し実施している。入居者に感染症がある場合(C型肝炎など)職員だけが分かるように表示し、常に意識できるようにしている。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・衛生管理マニュアルがあり、毎日消毒を行っている。食材も毎日買い物に行き、新鮮な食材を購入・使用している。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・庭に花を植えたり、入りやすいように門を開けている。近隣の人やバス停で待っている人も時々庭のテーブルで休んでいる。また、遍路道の為、お遍路さんへの案内板を出し、おせったいもしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・物品や装飾は馴染みの物を使用し、季節の花々も生けている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間内の各所に座る場所を設け、利用者はそれぞれの場所で、ご自分の洗濯物を置かれたり、おしゃべりされたりしていた。正座できる方は、畳の間で、お食事されることもある。トイレで雑誌を読まれる方もいる。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・いろいろな所にソファがあり、個別の空間を持てるようにしている。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			(外部評価)	居室は、日当たりがよく、布団が干しやすく、外の景色が眺められる造りになっている。馴染みのタンスやソファ、又、ご家族やご自身の写真を飾っておられる方もいた。冷蔵庫を置かれている方もあった。	
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			・快適な空間にするために喚起に気をつけ、温度調節も入居者の感じる快適温度に調節している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			(外部評価)	・廊下には手すりを付け、居室やトイレなどには入居者の目線で、分かりやすい目印をつけている。	
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			(外部評価)	・混乱や失敗がないように、場所や高さなど調節して、さりげない対応が来ている。	
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			(外部評価)	・庭が広いので散歩したり、観音様へお参りしたり、おやつを食べたりしている。畑もあり、季節の野菜と一緒に収穫したりしている。隣のデイサービスへも足湯や散歩、催し物などに参加させてもらっている。	

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいの	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない ・希望や意志表示が出来る人には出来ているが、意思表示が出来にくい人に対しては不十分だと思う。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある	2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない ・業務だけに囚われる事なく、職員が寄り添う支援が出来ている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが	3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない ・自分のペースで暮らしている方もいるが、意思表示が出来にくい人などに対しては職員が誘導している。しかし、その方にとって、心地良いペースであるように配慮している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが	3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない ・職員との関わりの中で、笑顔になり生き生きした表情や姿が見られる入居者もいる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが	4 ほとんどいない ・希望があれば支援しているが、行きたい時に行きたい場所へは行けていない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが	3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない ・職員が健康管理を意識し、主治医も24時間体制にて対応していただいている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが	3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない ・要望などに対しては、職員全員で話し合い、不安を感じさせないように、なるべく早く対応するように心掛けている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と	2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない ・面会があった時や電話があった時は、なるべく話す時間を作り、話しやすい関係作り、信頼関係作りを心掛け、職員から要望などが無いか聞いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに	4 ほとんどない ・地域の幼稚園や小学校から時々訪ねて来る事はある。



